

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果(花園小学校)

平均正答率

自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

	国語	算数	理科
花園小	下回った	下回った	下回った
埼玉県	68	58	58
全国	66.8	58.0	57.1

児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値(単位 %)

	質 問 事 項	花園小	埼玉県	全国
生活習慣	朝食を毎日食べている	86.3	94.3	93.7
	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	85.3	83.9	81.9
	毎日、同じくらいの時刻に起きている	91.7	91.9	91.0
学習習慣	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている	83.4	84.8	81.7
	学校の授業時間以外に、普段1日当たり1時間以上、勉強をする(学習塾や家庭教師、ICTを活用して学ぶ時間も含む)	67	25.6	24.9
	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり1時間以上勉強をする	48.6	49.0	47.1
	学校の授業時間以外に、普段1日当たり30分以上、読書をする	41.2	54.1	53.2
教科への関心	国語の勉強は好きだ	49.5	59.3	58.3
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	92.7	92.1	90.4
	算数・数学の勉強は好きだ	59.6	58.7	57.9
	算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	91.7	93.0	91.6
	理科の勉強は好きだ	87.2	81.4	80.1
	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	85.3	81.7	79.9
主体的・対話的な学び	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	78.9	84.7	80.3
	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた	69.8	75.7	68.6
	授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた	82.6	82.8	77.8
	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができた	84.4	87.9	84.9
その他	自分には、よいところがあると思う	84.4	88.5	86.9
	将来の夢や目標をもっている	85.3	84.7	83.1
	人の役に立つ人間になりたいと思う	93.6	96.8	96.4
	今住んでいる地域の行事に参加している	70.7	83.5	81.3

【質問紙分析】

- ・全体的に多くの項目で県または全国の平均を上回っている。学校、地域、市全体で共通理解のもと児童の学力向上に向けて取り組めているためだと考えられる。
- ・生活面では、「朝食を毎日食べている」「学校の授業時間以外に、普段1日当たり30分以上、読書をする」では、県または全国の平均を下回っている。手紙や懇談会などで家庭へ呼びかけ、「読書月間」など家庭と学校が連携して取り組む必要がある。
- ・学習面では、「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」では、県または全国の平均を下回っている。自分の意見を「書く」、「発表する」、「伝える」など主体的に取り組ませる授業改善が必要である。

全国の平均正答率と比較して大きく上回った問題○と課題のある問題●とその理由

【国語】

●2ニ

出題の趣旨は、「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけることができるかどうかをみる。」であるが、文章中の図や挿絵がもたらす効果について理解していなかったためだと考えられる。

●3三（1）

出題の趣旨は、「図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる」であるが、資料から筆者が伝えたいことを要約する力が身に付いていないためだと考えられる。

●3三（2）

出題の趣旨は、「文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる」であるが、資料から必要な情報を引用し、自分の言葉で記述する力が十分に身につけていないためだと考えられる。

【算数】

○3（3）

出題の趣旨は、「数直線上で、1つの目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えることができるかをみる」であるが、授業の中で、ICT機器や拡大図など、視覚にうったえる教具を活用し、分かり易く指導していたためだと考えられる。

●2（2）

出題の趣旨は、「台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる」であるが、見方を変えることで、台形の特徴を捉えることができなくなったためだと考えられる。

●2（4）

出題の趣旨は、「基本図形に分割できる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて、記述できるかどうかをみる」であるが、既習事項（三角形の面積）を元にすれば求められることに繋がらず、式、言葉を使つての説明の仕方が十分にできていなかったためだと考えられる。

● 4(2)

出題の趣旨は、「伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見だし、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述する」であるが、答えを求めるために、生活場面から何を読み取ればよいかを捉えられなかったためだと考えられる。

【理科】

○ 3(1)

出題の趣旨は、「ヘチマの花のつくりや受粉についての知識が身に付いているかどうかをみる」であるが、めしべ、おしべの違いや受粉のしくみについて理解できていたためだと考えられる。

● 2(3)

出題の趣旨は、「電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わる」であるが、電磁石を強くするための条件について、自分の言葉でまとめたり、友だちの意見を聞いたりするなど、知識を深めることができていなかったためだと考えられる。

● 2(4)

出題の趣旨は、「乾電池のつなぎ方について、直列つなぎに関する知識が身に付いているかどうかをみる」であるが、直列と並列の違い、回路の条件を整理できていないためだと考えられる。

● 3(3)

出題の趣旨は、「発芽するために必要な条件について、実験の条件を制御した解決方法を発想し、表現することができるかどうかをみる」であるが、条件制御をすることで、何を確かめたいかを理解していなかったためだと考えられる。

課題への取組・改善策

【国語】

- ・ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けるために、文章の中から必要な情報を取捨選択したり、整理したり、再構成したりする活動を授業や家庭学習で取り組んでいく。
- ・ 自分の考えが伝わる文章を書くために、引用したり、図表やグラフを用いたりするなど、書き表し方を工夫する力を身に付けさせていかなければいけない。そのために、話し手の意見を言葉や図を効果的に使いながらメモする活動を他教科と関連づけながら取り組ませていく。

【算数】

- ・ 辺の長さや角の大きさ、辺の位置関係に着目して指導し、図形を弁別できるように小テストで確認していく。
- ・ 日常生活から算数的活動を取り入れていく。ある数量を調べようとするときに、それと関係のある数量を見だし、それらの数量の関係を把握して、問題を解決できるようにする。

- ・1目盛りがいくつかを捉えられるように、繰り返し学習してく。また、普段からはかりを使う機会を増やしたり、授業の中で数直線を読み取らせたりしていきたい。

【理科】

- ・実験したことを、言葉で説明したり、図に整理したりするなど、知識と関連付けて理解を深めていけるように、授業を改善していく。
- ・ものづくりでできた装置を言葉や図に表現したり、言葉や図から装置を再構成したりするなどして、理解を深めることの重要性について意識して授業を改善していく。
- ・プレテストやまとめテストをくり返し行い、定着を図る。
- ・課題、解決方法、まとめを箇条書きにしたものをタブレットやノートに記録しておき、いつでも振り替えられるようにしておく。
- ・年間指導計画に学力調査で正答率の低い内容に印をつけ、意識して指導できるようにする。また、調査問題を行う。